

**ソフトフロント、シグナリング圧縮技術(SigComp)に対応したミドルウェア
『SigCompモジュール(仮称)』の販売を開始**
～次世代携帯電話、情報家電分野での製品拡大にむけて～

株式会社ソフトフロント(本社:札幌市、代表取締役社長:阪口 克彦 以下、ソフトフロント)は、IP 通信時の SIP(*1)メッセージを圧縮し、ネットワーク回線の利用効率を高める Signaling Compression 技術(シグナリング圧縮技術、以下 SigComp)に対応したミドルウェア『SigComp モジュール(仮称)』の開発を行い、販売を開始いたします。

ソフトフロントは固定/携帯電話網の融合環境として注目されている FMC(Fixed Mobile Convergence(*2))時代の到来や、その通信基盤の中心的な役割を担う IMS(IP Multimedia Subsystem(*3))を重要視し、自社製品の IMS 対応を急ピッチで進めておりました。現在のオフィス環境では、すでに NTTドコモの「M1000」・「N900iL」を始めとした無線 LAN 搭載のデュアル携帯電話での VoIP(*4)通話の導入が始まっています。無線などによる帯域幅の限られたネットワーク環境でより多くのサービスを提供する為に、通信一つ一つのパケットサイズを小さくする必要があり、その際に SIP メッセージの圧縮を実現する『SigComp モジュール』が大きな役割を果たします。

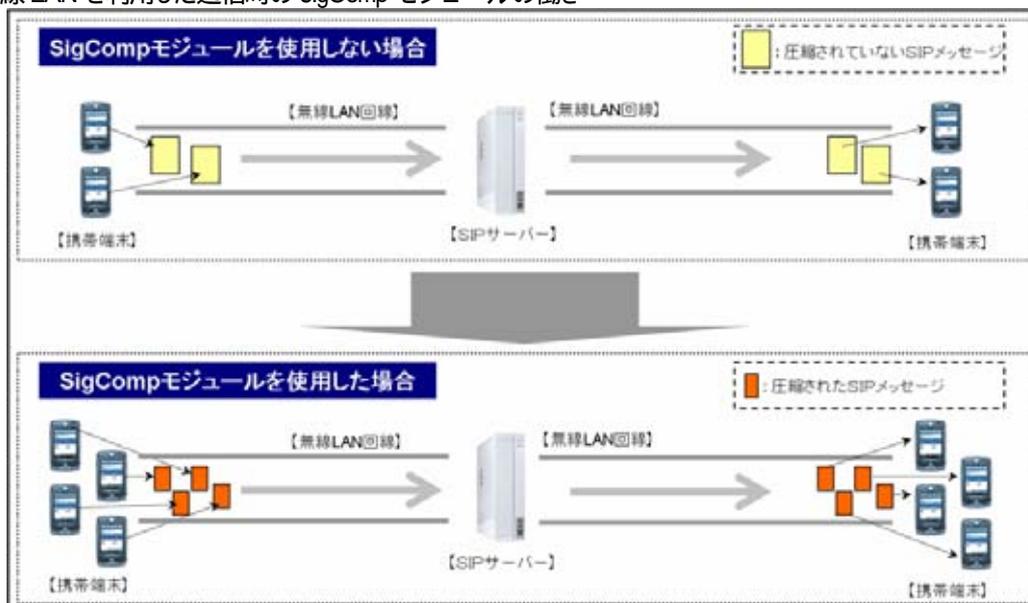
SIP はテキスト形式でメッセージを記述するプロトコルです。そのため拡張性や汎用性が高いというメリットを持ちますが、同時にメッセージのサイズが大きいというデメリットもあります。このデメリットを解消するために、テキスト形式のプロトコルを、送信側が伝送時にサイズの小さいバイナリ形式に圧縮し、受信側が圧縮されたバイナリ形式のメッセージをテキスト形式に復元する事によって、メッセージの圧縮を行う方式が SigComp です。

今回提供する『SigComp モジュール』を、当社 NOSKI SIP Library と共に使うことにより、製品開発メーカーは SIP の優位性を損なうことなく、ネットワーク負荷の少ない SIP 端末を開発することができます。

また、通信事業者は限られた帯域の中で、より多くのサービスを提供することが可能となります。

ソフトフロントは『SigComp モジュール』の提供により次世代携帯電話や情報家電サービスの開発をよりいっそう強力にバックアップしてまいります。

例:無線 LAN を利用した通信時の SigComp モジュールの働き



SigComp を使用することによって、同じ帯域幅の回線でより多くの通信を行う事が可能

【ご参考】

『SigComp モジュール(仮称)』概要

- ・提供形態: NOSKI SIP Library のオプションとして販売
- ・対応機能: deflate 圧縮方式、静的辞書
- ・対応 RFC: RFC3320、RFC3485、RFC3486

SIP サーバやプロトコル変換装置への展開について

今後、NOSKI SIP Library のオプションとしてだけでなく、ソフトフロントの提供する SIP サーバでの対応や、SigComp と相互変換するプロトコル変換装置などへの応用を検討しています。

(*1) SIP (Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現する新しいプロトコル(RFC3261)。Web の技術として有名な HTTP と同様にテキストベースであり、シンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして利用されている。最近では、その特徴を生かしてデジタル情報家電などへの搭載が注目されている。

(*2) FMC (Fixed Mobile Convergence)

固定電話と携帯電話の融合のこと。これにより、通信事業者が提供する固定電話と携帯電話のサービスを1つの端末で利用できるようになる。

(*3) IMS (IP Multimedia Subsystem)

第3世代携帯電話の規格標準化を行なっている団体「3GPP」と「3GPP2」によって、標準化されている規格で新しい通信事業用ネットワーク。セッション制御にSIPを採用しており、データ・音声・モバイルのネットワーク技術をIPベースのインフラストラクチャ上に融合させることにより様々なマルチメディアサービスを実現可能とする。

(*4) VoIP (Voice over Internet Protocol)

IP ネットワークを利用した音声通話の技術一般を指す。現在、注目されているIP電話は、この技術を応用したもの。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

掲載文中では、TM、(R)マークは原則として明記しておりません。

【プロフィール】

株式会社ソフトフロント

1997年設立のソフトウェア開発企業です。SIPとVoIPを核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。「技術を愛し、技術を提供することによって、社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現すること」を企業理念として、事業を展開しています。また、業界標準プロトコルになりつつあるSIPに早くから注力しており、様々な技術とノウハウを蓄積してまいりました。現在は、これまで培ってきたSIPとVoIPに関する技術やノウハウを多数のメーカーやシステム・インテグレーターに提供し、それらのパートナー企業を通じて当社技術の普及を図る「SIPパートナープログラム」事業に注力しています。さらに現在は、各種CPU/OSベンダーとの連携により、SIP開発環境の拡充を図っております。

URL: <http://www.softfront.co.jp>

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

経営企画室 広報担当

(札幌本社) 内海 電話:011-623-1035 FAX:011-623-1002

(東京本社) 中村 電話:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008

E-mail: press@softfront.co.jp

【本製品に関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

SPP 事業本部 営業グループ

電話:03-3568-7009 FAX:03-3568-7008

URL: <http://www.softfront.co.jp/spp/enquiry.html>